

人口	(56. 12. 1 現在)
男	15,302人
女	16,091人
計	31,393人
世帯数	7,759



▲今年1月の異常豪雪

## 市民総ぐるみで 雪害のないまちづくりを 雪害対策会議を開く

今年もよい初雪が降り、白魔の季節が訪れました。昨年は異常豪雪で、市民のみならずたいへんな思いをされたことと思います。市は、この苦い体験を踏まえて、このほど、市内関係機関とともに雪害対策会議を開き、除雪計画など総合的対策をまとめました。

昨年の異常豪雪で、従来の計画では支障が出ましたので、今年新たに、緊急道路除雪計画、除雪車出動体制、雪害対策本部のあり方、流雪計画などの見直しを行いました。

### 道路除雪は 十センチ程度から

今年の除雪計画では、市道総延長三百十八・四のうちの百五十一・三を除雪します。これは昨年より十七・多く、全体の四七・五％にあたります。

勝山土木事務所が除雪を行う路線延長は、九十六・四です。市、土木事務所とも、積雪十センチ程度で除雪作業を開始します。除雪順位は、国・県道に通ずる主要幹線道路を第一路線と

し、以下、主要な通学道路を第二次、その他の主要市道を第三次と定めています。しかし、市は、相当の降雪がないかぎり一様に行うようにしています。

除雪担当課では、通勤や通学に支障がないように、降雪情報に応じ宿泊待機をして、早朝除雪に備えます。

除雪作業は無線機を利用し、作業状況を把握しながら円滑有効に行います。

積雪量が多くなり、保有機械だけでは最低限の交通確保が困難なときは、民間からも借り上げ、約百台が出動できる体制をとります。

### 積雪六十センチ程度で 雪害対策室を設置

積雪量が六十センチ程度に達したときには、「雪害対策室」を設置して、雪害に対する窓口を一本化します。

雪害対策本部は、いままです積雪量が一・五以上となった段階で設置していましたが、五六センチの体積から湿った雪で、重く、被害が予想される場合は、積雪量が一・五以下でも設置することになりました。

小・中学校など市有建物施設の屋根雪おろしは、おおむね積雪量六十センチで木造を、一センチで鉄骨を、一・五センチで鉄筋をそれぞれ行います。

積雪が多量となった場合は、橋の除雪も行いますが、主要幹線以外の橋の除雪は、地元のみならずお願いしたいと思えます。

## これだけは守ろう かつちやまのルール

- ☆除雪作業の能率と事故防止のため、路上駐車あるいは物件の放置は絶対にしてはならない。
- ☆道路路肩にある樹木や竹などは雪のために倒れると、交通や除雪作業のじゃまになるので倒れないように措置をする。
- ☆除雪路線沿いの損傷を受けやすいものについては、必ず補強をするとともに、赤旗を立てる。
- ☆道路上におろした屋根雪は、必ず自分で始末をする。
- ☆消火栓、防火水槽付近の除雪はその地区で行う。
- ☆生ごみは、除雪作業のじゃまにならないように出す。
- ☆除雪中は、機械に近寄らない。通り抜けるときは、運転手の指示に従う。
- ☆ガスボンベの雷囲いやガス管水道管の補強は、必ず行う。
- ☆流雪作業は、各水路の責任者の指示に従う。
- ☆流雪作業中は、川ぶたが開いている旨を明示し、危険防止をする。作業を中断するとき、あるいは作業終了後には、必ず閉める。
- ☆冬期間は、除雪作業および道路交通をスムーズにするために、マイカー通勤はやめて公共交通機関を利用する。



## 路上駐車 困ります 悪質な場合強制撤去も

道路除雪のとき、いちばん困るのが路上駐車です。

一台の路上駐車のために、どうしてもその先の除雪ができず引き返してくるということもたびたびあります。

一人のわがままが、みんなの迷惑をまねきます。

とくに、早朝除雪のじゃまになる夜間路上駐車は絶対にやめてください。各自が責任をもって車庫に格納するか、駐車場を確保するようお願いいたします。

積雪期間中の通勤などは、マイカーの使用をやめて、公共交通機関を利用しましょう。

勝山警察署では、十二月十六日から来年の三月十五日までの

## 市街地の流雪計画 流雪の可否は 青旗、赤旗で

毎年、積雪時になりますと、流雪時間帯が定められるにもかかわらず、そのように行われず水路が詰まり、あちこちで浸水騒ぎが起き、被害が出ます。

このため、今年はこのようなことのないように、市民総ぐるみの組織づくりをと、勝山地区区長会、市消防署、市企画課、同建設課の四者で協議、流雪調整委員会を構成し、自主的、計画的に流雪を行うよう総合的な流雪計画をつくりました。

そして、水系ごとの関係区からは流雪推進員を一人ずつ、水系ごとの関係町内から流雪協力員、各水系の枝線関係町内から枝線責任者を一人ずつ選び、それぞれの水系の実態を把握しながら、的確に流雪が行われるようにはかかります。

流雪時間帯は、水路ごと、区ごとに午前六時から午後六時までです。

▼ 雪おろしの際は、電線、電話線に雪が当たると断線しますので、十分気をつけてください。

▼ 故障があったり、断線を見つけたときは、北陸電力(株)山営業所(☎八二一三〇〇) 勝山電報電話局(☎局番なしの一一三)へご連絡ください。

▼ 重機などによる流雪は水路が詰まるもとになりますので禁止します。

▼ 屋根雪を直接水路に投入しないように、また、自然に水路に落ちる建物には雪止めをするようご協力をお願いします。

▼ 流雪にあたっては、流雪推進員、同協力員、枝線責任者の指導にもとづき、トラブルの起きないようご協力をお願いします。

の十二時時間を、四または三区に分します。細かい時間帯は、流雪推進員で構成する地区委員会が、水系地域全体の流雪が円滑に行えるよう、お互いに連絡し合い定めます。

流雪時間帯は、平常時と緊急時(積雪が一センチ以上で、かつ連続的に降雪があるとき、または雪詰まりで流雪が困難なとき)に区分して設定します。

積雪がおおむね五十センチ程度になりますと、雪を流していいかわるいかを、水路ごとに青旗、赤旗を掲げて表示します。

雪を流していい場合は青旗、下流が雪詰まりなどで、雪を流してはいけない場合は赤旗を掲げます。

除雪作業の問い合わせは、必ず、区長、町内会長を通じて

市道については、市役所(☎八二一〇〇) 国・県道については勝山土木事務所(☎八二一六〇〇)へ行って下さい。

**北電・電話局  
からのお知らせ**

### 除雪作業の問い合わせは

除雪作業の問い合わせは、必ず、区長、町内会長を通じて

市道については、市役所(☎八二一〇〇)

国・県道については勝山土木事務所(☎八二一六〇〇)へ行って下さい。

1表 55年度一般会計決算状況 (単位:万円)

Table with 8 columns: 歳入, 決算額, 構成比, 前年対比, 歳出, 決算額, 構成比, 前年対比. Rows include 市税, 地方譲与税, 自動車取得税, etc.

市では、みなさんが納める市税や国からくる地方交付税などを中心に、五十五年度の一年間「明るく豊かで、住みよい生活環境のもとに、文化的生活が営める都市づくり」をめざして、いろいろの事業をすすめてきました。

ここに掲げる昭和五十五年度の決算状況は、「財政事情」の作成及び公表に関する条例の規定に基づいて公表するもので、いわば市の家計簿といえます。

昭和55年度 決算状況の公表

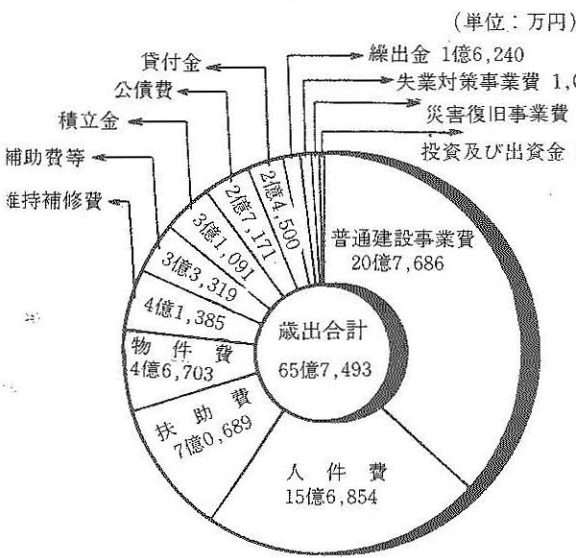
市の財政事情を毎年二回、市民のみなさんにお知らせしていますが、今回は昭和五十五年年度決算を公表します。

みなさんに市の財政を正しく理解していただき、建設的なご意見や積極的なご協力をお願いします。

一億 二百二十万円の黒字

五十五年度の最終予算額は、六十七億五千五百万円でした。この予算に対する収入総額は、六十六億九千六百六十三万円、

2表 一般会計性質別決算の状況 (単位:万円)



五十五年度も教育施設などの建設補助事業をすすめてきましたので、国庫支出金、県支出金に伸びがありました。

その他の歳入についても順調な伸びとなっています。

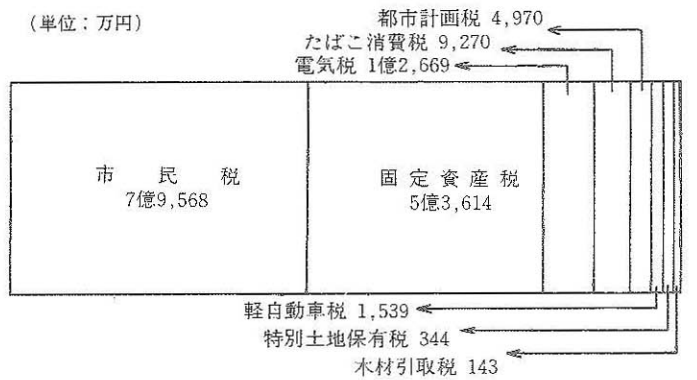
市民一人あたりの市税負担は 五千八百七十五円

五十六年四月一日現在の住民基本台帳人口三万四千四百六十三人で、市税調定額十六億三千二百六十六万円を割った市民一人あたりの市税負担は、五千八百七十五円です。

歳出の主なものは、土木費が十三億七千八百十万円、歳出全体の二一・〇%、教育費が十二億八千八百一十万円、一八・四%、総務費が十億四千五百一十二万円、一五・九%、福祉増進のための民生費が十億三千三百五十四万円、一五・七%の順になっています。

3表 市税の収入状況

Table with 2 columns: 市税, 固定資産税. Rows include 調定額, 収入額, 収入歩合.



公共施設の整備補修の充実

生活環境整備のために、国・県の補助金を積極的に受け入れ、市道の改良、都市計画街路・公園の整備、幼稚園・小学校・公民館の改築、南児童センターなどの公共施設の整備拡充をすすめた結果、事業費は二十億七千六百八十六万円となりました。

- 道路・橋りょう整備 (市道改良、舗装、橋りょう改良、凍雪害防止流雪清国・県道改良事業負担金、ロータリー除雪車購入など)
都市計画事業 (立石線・元祿線街路事業、弁天緑地・刀清水公園整備事業、土地区画整理事業負担金、県道街路事業負担金など)
農林業振興 (麦等大規模乾燥施設整備事業、農村総合整備事業、六億千六百九十九万円)
交通安全施設 (鹿谷小学校校舎・給食室改築、成器西小学校グラウンド整備、南部中学校プール新設、北部中学校グラウンド整備など)
小・中学校施設 (鹿谷小学校校舎・給食室改築、成器西小学校グラウンド整備、南部中学校プール新設、北部中学校グラウンド整備など)
その他 (南児童センター建設、青少年旅行村建設負担金、市営火葬場管理入室増築など)
消防施設 (防火水槽新設、ポンプ庫新設、小型動力ポンプ付積載車購入など)
災害復旧事業 (五百八十三万円)
その他の教育施設 (鹿谷幼稚園改築、村岡公民館改築、北郷公民館敷地舗装など)

経費の効率化と節減

最少の経費をもって最大の行政効果をあげるよう、貴重な財源を有効に運用し、行・財政の効率化と経費の節減に努めつつ健全財政を堅持しました。

- 地区再編農業構造改善事業 (土地改良、ほ場整備事業補助金、幹線林道改良、森林整備作業道開設、林道舗装、広域基幹林道開設・改築事業負担金など)
その他の教育施設 (鹿谷幼稚園改築、村岡公民館改築、北郷公民館敷地舗装など)
消防施設 (防火水槽新設、ポンプ庫新設、小型動力ポンプ付積載車購入など)
災害復旧事業 (五百八十三万円)
その他の教育施設 (鹿谷幼稚園改築、村岡公民館改築、北郷公民館敷地舗装など)

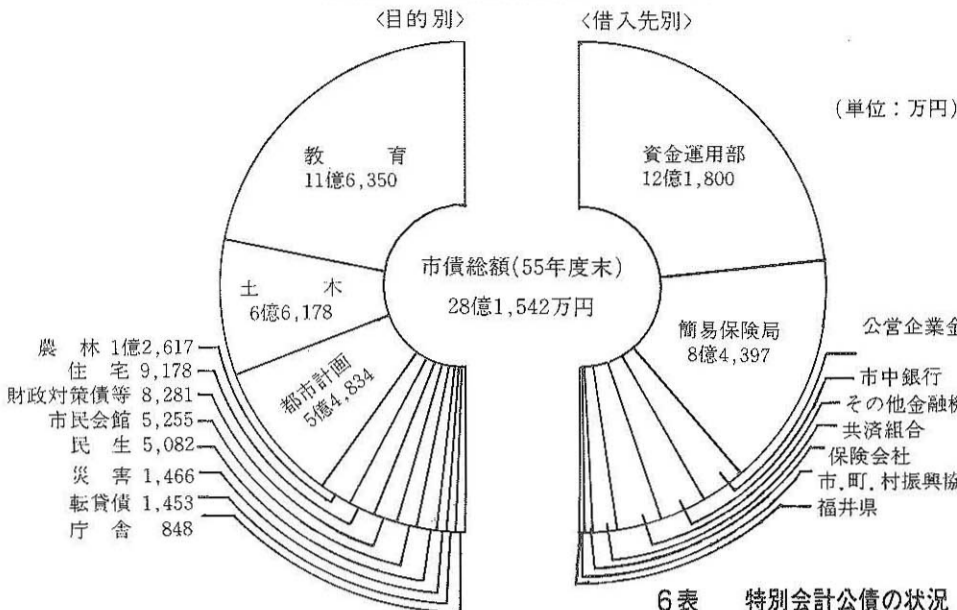


▲村岡公民館



▲村岡公民館

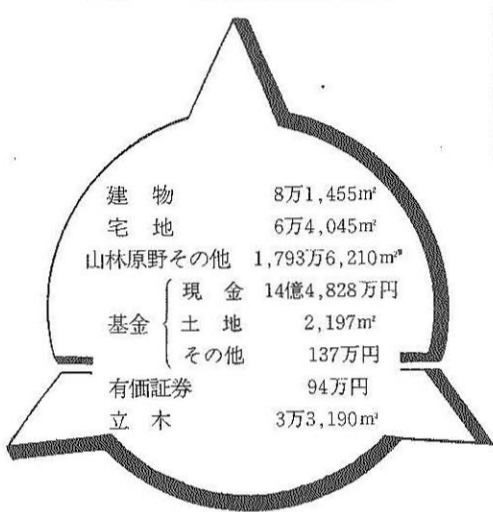
5表 公債の状況(一般会計)



6表 特別会計公債の状況

区分	現債額	借入先
市有林造成事業	13,341	農林漁業金融公庫
簡易水道事業	10,075	資金運用部 簡易保険局
下水道事業	77,418	資金運用部 公営企業金融公庫

7表 市有財産の状況



拡張工事

市勢の発展と市民生活の向上による水需要に対処するため、五十五年度も第四次拡張変更事業および公共下水道事業に伴う配水管敷設替え工事を中心として、施設の拡張、整備を積極的に行い設備の近代化に努めました。

第四次拡張変更事業については五十四年度に引き続き、村岡町浄土寺地係の水源による通水をめざして、勝山市雁ヶ原および

改良工事

五十五年度も公共下水道事業に伴う配水管敷設替え工事を実施しました。事業費全体では二千三百八十六万六千円でしたが、これに対し、下水道事業会計よりの補償金は千九百四十四万四千円で水道会計負担額は四百八十六万三千元です。

配水管敷設替え地区は郡町、栄町、芳野町、沢町、本町、元町、立川町、旭町で総延長は二千五百八十四メートルです。

その他、新たに配水管を千九百九十九メートル敷設し、配水管敷設地域の解消に努めました。

財政状況

五十五年年度の営業活動については、給水戸数は前年度より五十一戸増加し、給水収益は一億千三百九十九万九千三百九十円で、前年度より七百五十五万三千三百八十四円(前年度比七・二五%)増加しました。

事業成績ですが、収益的収支

区分	昭和55年度		昭和54年度		比較		区分	昭和55年度		昭和54年度		比較	
	千円	千円	千円	千円	比率	増減		千円	千円	比率	増減		
収益的収入及び支出					%	千円	貸借対照表			%	千円		
水道事業収益	133,639	149,374	89.47	△15,735		資産合計	875,421	586,446	149.28	288,975			
うち給水収益	113,200	105,648	107.15	7,552		うち 固定資産	826,884	545,226	151.66	281,658			
水道事業費用	142,571	141,542	100.73	1,029		うち 流動資産	48,537	41,220	117.75	7,317			
うち支払利息	30,221	16,123	187.44	14,098		負債資本合計	875,421	586,446	149.28	288,975			
資本的収入及び支出						うち 固定負債	—	—					
資本的収入	235,027	153,943	152.67	81,084		うち 流動負債	37,840	28,010	135.09	9,830			
うち 出資金	13,230	4,725	280.00	8,505		資本金	669,730	486,131	137.77	183,599			
うち 企業債	177,000	125,000	141.60	52,000		剰余金	167,851	72,305	232.14	95,546			
資本的支出	251,189	190,667	131.74	60,522		給水戸数	4,941	4,890	101.04	51			
うち 建設改良費	244,558	184,349	132.66	60,209		総配水量	2,559	2,513	101.83	46			
うち 企業債償還金	6,631	6,318	104.95	313									

公債と財産

各種事業の長期借入金である

公債費の五十五年期末現在高は一般会計二十八億千五百四十二万円、特別会計十億八百三十四万円となっています。

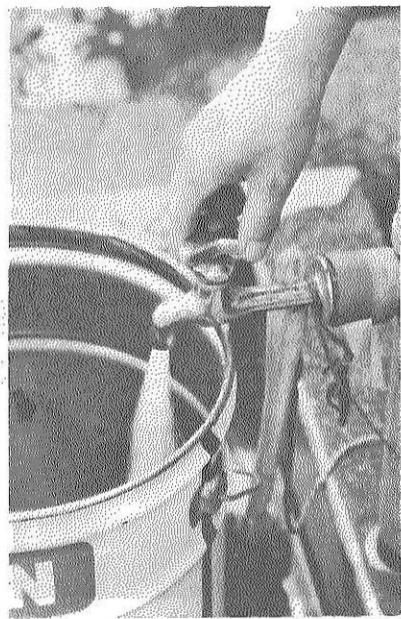
一般会計の目的別、借入先別の内訳は、5表のとおりです。特別会計の状況は、6表のとおりです。

市の財産状況は、7表をのぞいてください。

4表 特別会計の決算状況

区分	収入済額	支出済額	差引残高
市有林造成事業	3,091	3,091	—
育英資金	3,062	1,465	1,597
簡易水道事業	2,236	2,193	43
国民健康保険	80,690	78,695	1,995
同鹿谷直営診療所	1,588	1,613	△25
土地区画整理事業	45,035	49,475	△4,440
農業共済事業	11,165	10,811	354
下水道事業	56,796	56,136	660

昭和五十五年 水道事業の状況



仮設工事

公共下水道事業に伴う配水管敷設替え工事により給水管仮設工事を実施しました。事業費は千四百六十六万円で、全額下水道事業会計から補償され、水道会計の負担はありませんでした。

給水管仮設工事箇所は郡町、昭和町、沢町、本町、元町、立川町、芳野町、旭町で、総延長は五千六百三十一メートルです。

給水状況

五十五年度は夏期においては冷夏のため水の需要は停滞しましたが、冬期において、異常豪雪のため融雪に対する水の使用量が増加した点などにより、年間総配水量は二百五十五万九千四百立方メートルとなりました。五十四年度より四万五千九百四十八立方メートル(前年度比一・八三%)増加し、一日最大配水量も一万八千六百六十五立方メートルで、二千九百五十五立方メートル(前年度比三三・一六%)増加しました。

年間有収水量は百九十三万四千三百九十八立方メートルで、十萬四千六立方メートル(前年度比五・六八%)増加し、有収率は七五・五八%となり順調な伸びを示しました。

については、事業収益一億三千三百六十三万八千五百六十六円、事業費用一億四千二百五十七万九百一十一円、差し引き八百九十三万二千三百四十五円の純欠損を生じたので、五十四年度繰越利益剰余金七十四万四千三百三十九円で埋めた残額八百九十九万九千六百六十六円を、五十五年度未処理欠損金としました。

一方、資本的収支については資本的収入二億三千五百三十二万七千七百円、資本的支出二億五千八百八十九万四千四百四十四円、差し引き千六百六十六万二千三百四十四円の不足を生じました。

これについては、過年度損益勘定留保資金二百五十一万三千

百四円および五十五年度損益勘定留保資金千三百六十四万九千二百四十円で補てんいたしました。

五十五年度は、当初より経費を削減してもなお赤字予算となり、以降においても欠損が累積することが見込まれたため、やむを得ず五十六年三月定例会議において水道料金の引き上げをお願いしました。

今後は企業意識に徹し、経営の合理化をはかりつつ、需要家のみなさんへのサービス向上に努力して、市民の福祉向上の一端を受けもたせまい進んでいきますので、ご理解とご協力をお願いします。